



平成 27 年 7 月 22 日
 建築局住宅再生課
 温暖化対策統括本部環境未来都市推進課

事業予定者を選定しました
 ～環境未来都市「持続可能な住宅地モデルプロジェクト(緑区十日市場町周辺地域)」～

横浜市では、高度経済成長期に急速に市街化が進んだ郊外部に、200万人を超える市民の皆様が住んでいます。そうした中で、大規模団地などの住宅の老朽化をはじめ、若い世代の減少や高齢化、自治会活動等の地域の担い手不足、コミュニティの希薄化や活力の低下など、将来にわたる大きな課題が顕在化しています。

こうした課題に対応するため、郊外部の再生・活性化のモデルプロジェクトを、たまプラーザなど4地区で行っています。その一つである緑区十日市場町周辺地域において、市有地を活用し、**多様な機能とエリアマネジメントの仕組みを備えた新たな住宅地モデルプロジェクト**を実現する事業者の公募を行い、このたび**事業予定者を選定**しました。

今後、事業予定者ととも内容にさらに充実させ、**平成31年3月の竣工を目指します。**

1. 選定結果 (選定されたグループ)

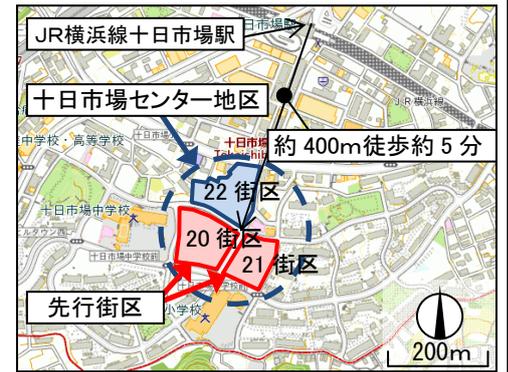
【代表企業】3社による共同企業体 (JV)

- 東京急行電鉄株式会社**
- 東急不動産株式会社**
- エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社**

【その他の参加企業】7社(うち**市内企業2社**※)

- 株式会社東急設計コンサルタント 株式会社長谷工コーポレーション
- 東急建設株式会社 株式会社東急ホームズ 工藤建設株式会社※
- 株式会社スリーオークス※ 株式会社梓設計

対象地 (緑区十日市場町 1501 番7外)



2. 提案内容

① 20・21街区の施設構成 (3街区全体においてマスタープランを提案)

	20街区 (約 1.47ha 売却)	21街区 (約 0.85ha 定期借地 50年)
住宅戸数	多世代向け分譲住宅 約 290 戸	サービス付高齢者向け住宅、 高齢者向け優良賃貸住宅、 賃貸住宅、戸建て住宅 約 200 戸
生活サービス施設	保育所、コミュニティスペース、 ミニスーパー 他 約 1,100 m ²	コミュニティスペース、コミュニティカフェ、 デイサービス 他 約 1,000 m ²

② 提案の特徴 (裏面の図を参照)

- エネルギー、地域活動、魅力づくり、住替えなど**周辺地域も対象としたエリアマネジメント**の実施
- 子育て・高齢者世帯などの**多様な住まい**と、子育て・介護支援や買い物などの**生活サービス施設**の供給
- 3街区の中央広場と、それを囲む生活サービス施設からなる**地域のシンボル大空間**など、愛着の持てるまちの実現

3. 今後のスケジュール (予定)

- 平成 28 年 2 月 事業実施協定締結
- 平成 29 年 4 月 工事着工
- 平成 31 年 3 月 竣工

※公募に関する情報はホームページに掲載
<http://www.yokohama-kousya.or.jp/news/detail/137>

【裏面あります】

■提案の特徴

十日市場駅勢圏

十日市場町周辺地域

十日市場センター地区（3街区）

21 街区

20 街区

●地域のシンボルとなる大空間

22 街区

十日市場駅に至る

●周辺地域も対象としたエリアマネジメント
エネルギー、地域活動、魅力づくり、住替え

●多様な住まい

【20 街区】
多世代型の分譲住宅

【21 街区】
高齢者向け住宅 賃貸住宅 戸建て住宅

【22 街区】（マスタープランの中で提案）
子育て世帯向け分譲住宅を中心

●生活サービス施設

【地域のシンボルとなる大空間】
子育て・シニアを支援する施設、買い物施設

※提案書に掲載された施設イメージ(今後、変更される可能性があります)

【環境未来都市と持続可能な住宅地モデルプロジェクト】

横浜市は、環境問題や超高齢化などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる「環境未来都市」として国から選定されています。（平成 23 年 12 月）

環境未来都市計画の主要な取組の一つである「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」では、郊外部の再生・活性化を目指し、地域特性の異なる 4 つのモデル地区を指定して取組を進めています。

緑区十日市場町周辺地域における取組は、その一つです。

※他のモデル地区：青葉区たまプラーザ駅北側地区、磯子区洋光台周辺地区、相鉄いずみ野線沿線地域



お問合せ先		
建築局住宅再生課長	大友 直樹	Tel 045-671-4543
温暖化対策統括本部環境未来都市推進課長	岩岡 敏文	Tel 045-671-2477